

基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

1	事業名	男女共同参画推進のための講座等の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画に関する講座や講演会等を年1回程度開催する。	
事業の実施内容				
自分の意識と行動を縛る「呪いの言葉」を知り、その解きかたを学ぶとともに、さまざまな社会的課題を捉え、その解決に向けて動いている人の話を聞き、自分たちにできることを考える連続講座「社会を変えるアクション～わたしたちにできること～」を実施した。①10/9「呪いの言葉の解きかた～向かいたい社会に目を向ける」、②10/16「変化を起こすアクション～わたしたちにできること」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率 【目標】80% 【実績】100%			【成果指標】満足度 【目標】80% 【実績】84%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加人数計:61人(第1回 38人、第2回 23人/女性50人、男性11人) 募集人数:各回30人×2回			「目を向ける先を変えることで、自分たちの望む世の中に一歩ずつ近づいていけると思え、気持ちが明るくなった」「疑問を持ったままにせず、動かなければと感じた」などの感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		今、社会で問題になっているジェンダーをめぐる事象について、「アクション」という切り口から話していただくことができました。意識啓発から行動変容へとつながるきっかけを提供できた。		
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

2	事業名	男女共同参画情報誌の発行	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に、男女共同参画に関する情報をわかりやすく発信することで、意識啓発、理解促進を図る。			年2回定期的に男女共同参画情報誌を発行する。毎回テーマを定めた特集を掲載する。	
事業の実施内容				
情報誌「みてみてほっと越谷」を発行・配布した。第49号(7/1発行)のテーマは「『ほっと越谷』開設20周年を迎えて」で、開設からの20年の歩みを振り返り「ほっと越谷」のこれからを展望した。第50号(2/1発行)のテーマは「みんなで見てみよう！第4次越谷市男女共同参画計画」で、計画の解説とともに、地域からの男女共同参画推進を市民と考えた事例として20周年記念事業の分科会発表とパネルディスカッションを紹介した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】発行部数 【目標】26,000部 【実績】27,000部			【成果指標】 【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
第49号:14,000部、第50号:13,000部			市の施設などで配布するほか、自治会の回覧やホームページへの掲載などの工夫により、より多くの市民に届けることができ、市民の意識啓発、理解促進を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		第49号では、「ほっと越谷」と越谷市の男女共同参画推進の20年の歩みを、年表と写真、情報誌やチラシの画像などを用いてわかりやすく伝えた。第50号においても、第4次越谷市男女共同参画計画が具体的にどのような施策で推進されていくのか、「ほっと越谷」事業を例示しながら、具体的に示した。		
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

3	事業名	男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
インターネット、スマートフォンなど多様化するメディアから発信されるジェンダー(社会的・文化的に作られた性差)に関する情報をうのみにせず、主体的に読み解き、活用する能力を高める。			メディアから発信される情報を選び取る力、見極める力を養うための講座の開催やパネル展示等を行う。	
事業の実施内容				
差別や偏見を学習したAIが私たちの暮らしにどのような影響を与えるかを知り、デジタルプラットフォームが提供するサービスのリスクを知り、デジタル時代の情報リテラシーを考える講座を実施した。9/4「AIとジェンダー、そのキケンな関係ーデジタル時代の情報リテラシーを考える」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回 【実績】 1回			【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加人数:43人(女性31人、男性11人、その他1人) 募集人数:30人			「機械学習のジェンダーバイアスの背景には機械学習研究者に女性が少ないためと知り、男性優位社会が続いている現実を再認識した」「AIの判断だけを信じるのではなく、第一次情報も機械的に取り入れて、リテラシーを身に付けたいと思った」などの感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			新しい技術であるAIが差別や偏見を再生産・強化するリスクをはらむことを伝えられた。AIとジェンダーという新鮮なテーマで、多くの市民にジェンダーについての学びの機会を提供できた。	
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

4	事業名	男女共同参画推進のためのパネル展示等の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。			国の男女共同参画週間等に合わせて、パネル展示等を行う。	
事業の実施内容				
①4/1～5/5世界における日本のジェンダーギャップ指数in科学技術体験センター「ミラクル」、②4/16～5/19女性とSDGs、③5/19～6/18リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、④7/3男女共同参画支援センター「ほっと越谷」20年in中央市民会館ホワイエ、⑤9/1～9/29防災・減災と男女共同参画、⑥3/4～3/11国際女性デーin本庁舎ロビー、⑦3/8～3/17さいたま初めてガール				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 7回 【実績】 7回			【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
			男女共同参画の啓発や、「ほっと越谷」の実施事業に関連するさまざまなテーマのパネル展示を企画し、「ほっと越谷」や本庁舎1階ロビーに展示することにより、男女共同参画について市民の理解を深めることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			関係機関からパネルを借用し、「ほっと越谷」が実施する事業と連動したパネル展示を企画・開催することで、幅広い情報提供を行った。今年度は「ほっと越谷」開設20周年の節目の年でもあり、「ほっと越谷」や越谷市の男女共同参画の歩みを振り返るパネルを作成・展示することで、「ほっと越谷」の活動を市民に広く周知することができた。	
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

5	事業名	男女共同参画推進のための出前講座等の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		地区センター等において、男女共同参画に関する講座、パネル展示等を実施する。		
事業の実施内容				
①8/24フェリーチェ広場「育児で仕事を辞めた方のための講座～仲間を見つけにきませんか～」、②10/17大袋公民館「LGBTって知っていますか」、③11/9増林公民館・シネマ『空とコムローイ』、④11/28春日部ハーモニーフェスタ・シネマ『兼子』、⑤12/24南越谷公民館・シネマ『空とコムローイ』、⑥2/5「自主防災組織リーダー養成講座」(中止)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実施事業数		【成果指標】		
【目標】 6回 【実績】 5回		【目標】 【実績】		
【達成度】 4(概ね達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
参加人数計:92人(女性60人、男性32人) ※コロナウイルス感染拡大のため1講座中止		センターに来所される方を待つばかりでなく、こちらから積極的に向かい講座等を行うことで、多くの人に気づきや学びの機会を提供し、市民の理解を深めることができました。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		新型コロナウイルス感染症感染拡大のため1講座が中止になったものの、地区センターや地域の活動団体の事業などに出向き、男女共同参画の啓発を行うことができました。		
<R2年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

6	事業名	男女共同参画推進週間における事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市の男女共同参画推進週間に合わせて、市民団体と協働で男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの周年事業(七夕フェスタ)を、登録団体その他の市民団体と協働で実施する。		
事業の実施内容				
登録団体が構成する実行委員会と共催で、七夕フェスタを開催した。「ほっと越谷」開設20周年の節目の年のため、7/3に中央市民会館劇場にて周年イベント(「ほっと越谷」開設20周年記念事業～誰もが暮らしやすい越谷へ～)を開催した。(参加人数:158人)6/22～7/7までは「ほっと越谷」で七夕フェスタを開催し、期間中に登録団体企画による講座や展示を実施した。(参加人数:385人)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 参加団体数(延べ)		【成果指標】		
【目標】 125団体 【実績】 147団体		【目標】 【実績】		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
七夕フェスタ:企画講座19団体、企画展示24団体、交流会52団体 「ほっと越谷」開設20周年記念事業:52団体		「ほっと越谷」開設20周年記念事業では、登録団体が主体となり、これまでの施設の事業や登録団体の活動をパネルで紹介し、男女共同参画の推進を図ることができた。これまでの成果の一つの集大成となった。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		20周年記念事業の第1部は登録団体による「地域活動」「多様性」「男女共同参画」「子ども」の4つのテーマでの分科会発表、第2部は「ほっと越谷」主催のパネルディスカッションを行った。いずれも3ヶ月にわたる準備を重ね、「誰もが暮らしやすい越谷へ」に向けた提言をまとめた。発表準備の中で、各団体同士、活動への理解が進み、連携を深めることもできた。		
<R2年度評価> -				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

7	事業名	市民との協働による事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民との協働による事業を企画実施することにより、男女共同参画に関する理解を深める。			公募した市民で構成する企画委員等との協働により、事業を実施する。	
事業の実施内容				
公募による市民企画委員との協働で、1/23に「本で旅する！私のウキウキ、わくわく探し」をテーマに図書を紹介と意見交換を行う「ブックサロン」を開催した。11/11～12/12には、ブックサロンと同テーマで「ほっと越谷」所蔵図書を展示する「ブックフェア」を開催した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 2回 【実績】 2回			【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
ブックサロン参加人数:16人(女性11人、男性5人) ブックサロン募集人数:15人			ブックサロンやブックフェアの開催を通じて、企画委員が「ほっと越谷」の所蔵する男女共同に関する本を紹介した。書評付きのブックリストや手書きの図書紹介のカード(ポップ)の作成が、来所者が実際に所蔵図書を手に取るきっかけになり、男女共同参画の理解を深めることにつながった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			開催数を増やしてほしいという声も出ている。	
<R2年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

8	事業名	支援センター登録団体等との協働による事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民との協働による男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画支援センターの登録団体および他の市民団体との協働により、男女共同参画に関する講座の企画、運営を行う。	
事業の実施内容				
登録団体・市民団体による5講座を実施した。①6/17・7/15家庭・仕事・子育ての人間関係がぐっと楽になるコミュニケーション講座②11/20子どもの居場所になる！子育ての相談相手になる！放課後等デイサービス活用ガイド③11/27はじめての「こども食堂」講座④11/28やさしい日本語を体験してみよう～学校現場の手紙から～⑤12/5自分のからだは自分のもの！勝手にさわるのNo!!				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 協働で開催する講座数			【成果指標】 満足度	
【目標】 4回 【実績】 5回			【目標】 80% 【実績】 88%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
書類選考とプレゼンテーションにより4講座を決定した。令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期した1講座を加え、5講座の開催となった。(登録団体4団体、市民団体1団体)			受講をきっかけに子ども食堂の開設に至った事例があった。満足度だけでなく実効性の高い学びも提供できた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			担当者企画会議や講座の実施を通じて、開催団体の男女共同参画に対する理解を深めることができた。講座運営に協力した団体から「ほっと越谷」登録団体申請の申し出があり、協働の輪が広がるきっかけにもなった。	
<R2年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

9	事業名	男女共同参画に関する図書の貸出し	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画に関する図書の貸出しを実施する。	
事業の実施内容				
男女共同参画に関する図書・行政資料などを収集し、閲覧・貸出を行った。イベント情報誌への講座・イベント関連図書の掲載や、ブックフェアの開催により、所蔵図書の紹介と利用促進を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用者数(延べ) 【目標】 510人 【実績】 528人 【達成度】 5(十分に達成できた)			【成果指標】 【目標】 【実績】 【達成度】 5(十分に達成できた)	
利用者:528人(女性458人、男性70人) 貸出冊数:766冊			男女共同参画に関する所蔵図書を紹介する「ブックフェア」を開催し、男女共同参画の推進を図ることができた。毎回テーマを変え、9回開催したが、紹介した所蔵本リストは「ほっと越谷」ホームページから閲覧・ダウンロード可能で、情報提供ツールとしても活用されている。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる) ＜R2年度評価＞ A			「ほっと越谷」交流コーナーの一角に、職員が寄贈した図書で構成された「交流文庫」がある。所蔵図書とは異なるラインナップで、小説やコミックスが充実している。交流コーナーを使用する中高生にも手取りやすいよう、越谷市の高校学校司書らが選んだブックリスト等とともに図書を紹介し、利用促進に取り組んでいる。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

10	事業名	ジェンダーの視点を踏まえた刊行物等作成のための啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市の各課所に、性別による固定的イメージが含まれる刊行物等を作成することがないように意識啓発を図る。			ジェンダーの視点を踏まえた刊行物等作成のガイドラインを作成するとともに、ガイドラインに沿って刊行物等が作成されているかを定期的に確認し、各課所に通知する。	
事業の実施内容				
リーフレットやチラシ、広報こしがや等、市で発行した刊行物を毎月5種類チェックし、チェック項目に該当する刊行物があった場合は、担当課所に今後の配慮をお願いしている。また、チェック結果を3ヶ月に1回掲示板で報告することで、全庁的に作成時の注意喚起を図った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 チェックした刊行物等の数 【目標】 60種類 【実績】 60種類 【達成度】 5(十分に達成できた)			【成果指標】 【目標】 【実績】 【達成度】 4(概ね達成できた)	
毎月5種類×12カ月			リーフレットやチラシの作成の際にいくつかの課からアドバイスを求められるなど、ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成に対する意識が高まっていると思われる。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる) ＜R2年度評価＞ A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

11	事業名	市民への男女共同参画苦情処理委員の周知	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男女共同参画の推進に関する市の施策や、男女共同参画の推進を妨げる事案に対して、市民が必要なときにいつでも苦情の申し出ができるように、苦情処理委員の周知を図る。			広報紙やホームページに男女共同参画苦情処理委員の情報を掲載するほか、随時チラシ等を用いて苦情処理委員の周知を行う。	
事業の実施内容				
年間を通じてPRリーフレットを市の施設に設置するほか、ホームページでも制度を紹介している。また、ほっと越谷の情報誌「みてみてほっと越谷」に制度を紹介する記事を掲載するほか、新成人に制度を紹介するチラシを配付した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 広報紙やホームページ等でPRする回数			【成果指標】	
【目標】 3回 【実績】 3回			【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
①越谷市ホームページ②「みてみてほっと越谷」50号(2月)③新成人にチラシを配付(3,200部)			さまざまな媒体や機会を利用し、男女共同参画苦情処理制度について広く周知を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
令和2年度に引き続き、令和3年度は苦情の申し出がなかったが、男女共同参画を妨げる事案は未だ存在しているため、今後も積極的に制度の周知を図って行く必要がある。			今後も積極的に周知を行う。	

12	事業名	職員に対する男女共同参画の啓発	所管課所	人事課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、男女共同参画に関する研修を実施することにより市職員の理解を深め、意識啓発を図る。			男女共同参画に関する研修を実施する。	
事業の実施内容				
新採用職員及び監督職員(主幹級)を対象に、男女共同参画に関する研修を実施した。(新採用職員研修は4/5、4/7、4/8に実施、監督職員(主幹級)研修は1/12に実施)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 男女共同参画に関する研修の受講者数			【成果指標】 理解度	
【目標】 ー 【実績】 214人			【目標】 100% 【実績】 82%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
①新採用職員研修(4/1付採用):男性65人、女性102人 ②監督職員(主幹級)研修:男性24人、女性23人			人権・男女共同参画推進課職員を講師に「男女共同参画の意義や取り巻く環境」について講義を実施。研修後の受講者アンケートでは、「理解できた」「概ね理解できた」や「今後の業務の参考になる」との回答が多数を占めた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (2) 性の多様性に関する理解の促進と支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

13	事業名	性の多様性の理解促進に関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に、性の多様性の理解を促すとともに、互いに尊重し合う意識の啓発を図る。			性的少数者への理解を深める講座を開催する。	
事業の実施内容				
多様な性についての情報を提供し、性の多様性の理解を促すとともに、性的少数者に対する理解と支援や多様性を認め合える社会の重要性を伝える講座を開催した。10/3「僕のトランスジェンダー・ストーリー—自分らしい「性」を探し続けて」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率			【成果指標】理解度	
【目標】80% 【達成度】5(十分に達成できた)			【目標】80% 【達成度】5(十分に達成できた)	
【実績】80%			【実績】87%	
参加人数:24人(女性18人、男性5人、その他1人) 募集人数:30人			「トランスジェンダー男性の生きた言葉で語られる現状が心に染みた。LGBTQが生きやすい社会は誰もが生きやすい社会であると思った」「LGBTについていろいろなことを知り、学ぶことができた」などの感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		当事者の話を聞く機会等が少ないなか、市民に性の多様性について学び、考える場を設けた。参加者に性的少数者に対する知識を提供することで、性的少数者への理解を深めることができた。講座終了後に講師を中心に座談会を実施。「安心で安全な場」での語り合える有意義な時間となった。		
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

14	事業名	性的少数者への理解促進のための職員研修の実施	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市職員が性的少数者への正しい理解と認識を深め、窓口等において、配慮した対応ができるよう、意識啓発を図る。			性的少数者への理解を深める研修を実施する。	
事業の実施内容				
性的少数者を講師に招き、全ての課所の職員を対象とし、性的少数者への理解促進のため研修を実施した。 講師:レインボーさいたまの会				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】受講者数			【成果指標】理解度	
【目標】45人 【達成度】5(十分に達成できた)			【目標】100% 【達成度】4(概ね達成できた)	
【実績】47人			【実績】97.8%	
			研修後の受講者アンケートでは、「性的少数者のお話を聞くのは初めてで、実際の困難さがよくわかった。」「今後の業務に活かしていきたい」等の回答があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> R3新規				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (2) 性の多様性に関する理解の促進と支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

15	事業名	性的少数者への理解促進のための啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市内事業者への性的少数者への正しい理解を深めるため、意識啓発、理解促進を図る。		性的少数者への理解を深めるリーフレットを市内事業者へ配付する。		
事業の実施内容				
パートナーシップ宣誓制度について、周知した記事を掲載した「市内事業者向け男女共同参画リーフレット」を市内業者に配付した。(5,350部) また、性的少数者に関する理解を促進するためのリーフレットを公共施設及び市内の高校・大学等に配付した。(1,070部) リーフレットはホームページにも掲載した。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】リーフレットの配付回数		【成果指標】		
【目標】1回 【実績】2回		【目標】 【実績】		
【達成度】5(十分に達成できた)		【達成度】4(概ね達成できた)		
①越谷商工会議所に依頼し登録している市内企業(5,350社) ②公共施設及び市内の高校・大学等(32施設)		リーフレットを配付することで、性的少数者への理解を深めてもらうことができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> R3新規				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (3) 国際理解の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

16	事業名	国際的な動向についての情報提供	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
男女共同参画の取り組みは国際的な動向と密接に連動しているため、国際的な動向についての情報を市民に提供し、男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		男女共同参画に関する国際的な動向について、情報提供を行う。		
事業の実施内容				
男女格差を示す国際的指数である「ジェンダーギャップ指数」のほか、日本でのオリンピック開催に合わせ、オリンピックに関する内容について、男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と連携してパネルを作成し、市役所ロビーでパネル展を開催した。(3/4~3/11)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実施回数		【成果指標】		
【目標】 1回		【目標】		
【実績】 1回		【実績】		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
		世界の国々と日本の男女共同参画の現状に目を向け、考えてもらう機会を提供することにより、市民の意識啓発・理解促進を図ることができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		今回はオリンピックに関連した内容をタイムリーに取り上げることができ、より関心を高めることができた。		
<R2年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

17	事業名	家庭における固定的な役割分担意識の解消に関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
家庭において保護者に子どもが小さいうちから男女共同参画の視点に基づいた関わりを持つことの必要性を認識してもらう。			保護者に向けて、性別による固定的役割分担意識にとられない子育てなど、ジェンダーの視点を踏まえた家庭教育に関する講座を開催する。	
事業の実施内容				
未就学児の保護者と妊娠中の方を対象に、スウェーデンの子育てや子どもの人権を尊重し、長期的な視野に基づく子育てをめざす「ポジティブ・ディシプリン」の考え方をヒントに、固定的な役割分担意識にとられない子育てについて学ぶ講座を実施した。7/10「がんばりすぎない子育て～心を軽くする子どもとの関わり方～」				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】参加率 【目標】80% 【実績】63%			【成果指標】満足度 【目標】80% 【実績】50%	
【達成度】 3(達成まで今一步)			【達成度】 3(達成まで今一步)	
募集人数:8人 参加人数:5人(女性5人)			「目先の目標にとられず長期的な目標を決めることで、怒りたくなるようなことでも『将来自立した大人になってくれればいい』と大目に見ることができそうだ」などの感想があった一方、具体的な手法を知りたかったとの意見があった。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要) <R2年度評価> A			「男女共同参画ミニ講座」と「がんばりすぎない子育て」をリンクさせた構成により、男女共同参画の視点を踏まえた子育てについて伝えたが、より具体的な答えが欲しい参加者のニーズとの間にギャップがあった。また、会場までの移動がなく参加しやすい一方で、子ども同席となり講座に集中することが難しいという側面もあった。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
資料の事前配布や講座の進め方など、オンライン講座をわかりやすく伝えるための配慮も必要だった。			オンラインでの投影資料だけでなく、参加者がメモを取ったり、実際に考えをまとめるためのワークシートを事前配布するなど、オンライン講座をスムーズに進行するための工夫を行う。	

18	事業名	保護者に向けた啓発資料の配付	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
家庭で男女共同参画の視点に基づいた教育が行われるよう、保護者に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。			保育所(4歳クラス)、小学校3年生、中学校1年生の子を持つ保護者全員に男女共同参画意識の啓発資料を配付する。	
事業の実施内容				
市内の幼稚園及び公立・私立の保育所の4歳児クラス、小学校3年生、中学校1年生の保護者全員に家庭での男女共同参画に関するリーフレットを作成し、配布するとともに、ホームページに掲載した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】配付部数 【目標】— 【実績】10,345部			【成果指標】 【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
4歳児クラス3,625部、小学校3年生3,550部、中学校1年生3,170部			対象となる全ての保護者に配付することができ、保護者の男女共同参画の意識啓発を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる) <R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

- 基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

19	事業名	教職員に向けた啓発資料の配付	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員の男女共同参画に関する理解をさらに深める。			市立の小中学校教職員全員に、男女共同参画意識の啓発資料を配付する。	
事業の実施内容				
男女共同参画に関する理解をさらに深めるため、市立小中学校すべての教職員に男女共同参画リーフレットを配付するとともにホームページに掲載した。 今回は、令和3年4月から導入された「パートナーシップ宣誓制度」や性の多様性の正しい理解について取り上げた。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 配付部数 【目標】 — 【実績】 1,503部			【成果指標】 【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
			対象となる教職員全員に配付でき、教職員への男女共同参画に関する意識啓発ができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

20	事業名	若年層に向けた男女共同参画推進条例リーフレットの配付	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
できるだけ早い時期から男女共同参画の考え方を理解するよう、若年層に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。			小学6年生全員に市の男女共同参画推進の基本的な考え方である「越谷市男女共同参画推進条例」のリーフレットを配付する。	
事業の実施内容				
市立小学校6年生全員に「越谷市男女共同参画推進条例」の子どもリーフレットを配付するとともに、ホームページに掲載した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 配付部数 【目標】 — 【実績】 3,145部			【成果指標】 【目標】 【実績】	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
小学校6年生及びその学級担任に配付した。			市立小学校6年生全員に「越谷市男女共同参画推進条例」の子どもリーフレットを配付することで、男女共同参画意識の早期形成を促すことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

- 基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
- 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
- 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が記入されています。)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

21	事業名	教職員への男女共同参画に関する研修会の実施	所管課所	指導課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		教職員に向けて男女共同参画に関する研修会を行う。		
事業の実施内容				
性的マイノリティやアンコンシャスバイアスなどについて、埼玉大学の渡辺先生を講師に迎えた。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から動画配信の机上研修とした。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 参加人数		【成果指標】 理解度		
【目標】 45人		【目標】 100%		
【実績】 45人		【実績】 100%		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年度は中止となったが、今年度は感染拡大防止のため、集合研修ではなく動画配信としたことで、例年通りとはいかないまでも研修ができた。また、動画配信としたことで、研修以外の場でも活用できるものとなった。		動画配信になったが、レポートの提出により視聴した教職員の理解度を確認することができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> -				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
感染拡大防止のため中止とすることなく開催できたことは成果である。教職員の働き方改革も含め、今後はオンライン開催なども視野に入れて検討していく。		新型コロナウイルスの感染状況に限らずオンライン開催や動画配信などを検討していく。		

22	事業名	キャリア教育の推進	所管課所	指導課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
児童生徒に、性別による固定的役割分担にとらわれないキャリア形成ができるよう、男女共同参画に関する意識啓発を図る。		キャリア教育を実践するため、中学校ではさまざまな職業についての調査・体験、小学校では地域の方との交流などを行う。		
事業の実施内容				
小中学校の総合的な学習の時間及び特別活動の授業等において、「進路教育・キャリア教育」の推進を図る。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職場体験は市内全中学校で中止となったが、身近な大人などに職業インタビューを行ったり、地域で働く方々を講師として学校へ招いたりした。また、自分らしい生き方を実現するため、キャリア・パスポートを活用した。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実践校数		【成果指標】		
【目標】 45校		【目標】		
【実績】 45校		【実績】		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
小学校30校 中学校15校		新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制限がある中ではあるが、職業についての調査や地域の特性を生かした体験活動、地域の方との交流等を通して「キャリア教育」の推進を図ることで、児童生徒が自己理解を深め、自分らしい生き方について学ぶことができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R2年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
児童生徒が将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するため、キャリア・パスポートをより充実させる必要がある。		市内各中学校区で、地域の特性を生かしたキャリア・パスポートを活用できるよう、確認、見直しをしていく。		